

会場まで来るのが難しい新生児のお母さんに インタビューしたい

新生児のお母さんに対するオンラインデプスインタビュー

<背景と課題>

乳幼児向け製品を開発している某メーカー様は、生後3か月以内の子供を持つ母親にデプスインタビューをしたいと考えていました。大規模なオンラインパネルでスクリーニングをすると条件に適合する候補者はわずかながら見つかるのですが、会場インタビューへの参加となると、許諾率が極端に下がり参加者が見つからずインタビュー調査が出来ない状況でした。

<ご提案内容>

- (1) オンラインデプスインタビューを実施頂き、リクルートの対象を全国に広げました。
- (2) 対象者リクルートの際に、インタビュー候補時間を可能な限り広く設定して募集をかけました。
- (3) 上記でもサンプルが足りない場合は、条件が会って、予定が合わないため参加できない人には、別途いつなら参加できるかをヒアリングをその都合に合わせてインタビューを実施するようにしました。

<結果>

オンラインインタビューへの参加許諾率は、想定以上に高く無事インタビューを実施することが出来ました。

インタビュー途中で赤ん坊が泣きだしてしまいインタビューを中断するといったハプニングもありましたが、赤ん坊のベッド、普段遊んでいるおもちゃ、育児用品等々を見せてもらうことによって、クライアントにとって、様々な発見が得られたプロジェクトになりました。



<ココがポイント>

介護を受けている人/介護をしている人、疾患を持っていて外出が困難な人、妊娠中の人や生後間もない乳児を持っている人等々、会場まで来てもらうのが難しくこれまでインタビュー調査をあきらめていたターゲットは多々あります。オンラインインタビューを使うと、そのような対象者へのインタビューも簡単に実施することが出来ます。

インタビュー時間が柔軟に設定できることもオンラインインタビューの強みです。会場インタビューだと、インタビュー実施日は、会場の予定ありきとなってしまいます。折角、対象条件に合う人が見つかったとしても、会場を押さえている日時にその人の都合が合わないということは多々あります。しかしながらオンラインインタビューは、専用会場を用意する必要がないので、対象者の都合に合わせて実査を柔軟に実施することが可能です。